

東 北 大 学



「変動地球共生学卓越大学院プログラム」

令和8年度（2026年度）4月期

学 生 募 集 要 項

出願期間	令和8年2月9日（月）～令和8年2月12日（木）
面接試験	令和8年2月下旬
合格発表	令和8年3月16日（月）

令和8年（2026年）1月



SyDE

WISE Program for
Sustainability in the
Dynamic Earth

変動地球共生学卓越大学院プログラム

変動地球共生学卓越大学院プログラムの目的と育成する人材像

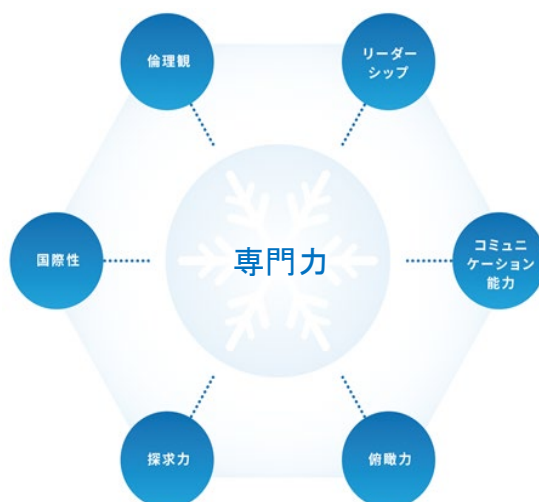
変動地球共生学卓越大学院プログラムは、変動帯における地球科学的諸現象を背景とした災害発生メカニズムの解明と予測技術の向上を推進するとともに、社会と人間を理解し、多様なリスクに事前対応できる実践力を身につけた「知のプロフェッショナル」を輩出することを目的とした博士課程前・後期一貫の学位プログラムです。自然災害への対応に留まらず、幅広い分野において、安全・安心で持続可能な社会を創出するため、それぞれの専門力をさらに強化して知の最前線を開拓しつつ、人間を理解し、研究成果を社会に還元することのできる博士人材を育成します。7研究科にわたる文理融合教育、民間企業・団体や研究機関・国際機関との協働教育を通じて、俯瞰力・コミュニケーション能力・実践力・倫理観・国際性・探求力・リーダーシップなどの多角的な能力を身につけた人材を輩出することを目指します。このような人材育成により、仙台防災枠組みをはじめとするグローバルな国家的な取組みに貢献することを目的とします。

本プログラムには、以下の2つのコースを設置します。一般選抜（基礎研究コース）で博士からの学生も募集対象になる。

- 1 **基礎研究コース**：原則として一般選抜・自己推薦・外国人留学生等特別選考により入学する（入学し在籍中の）学生で、学位プログラムにおける付加的な能力を身につける大学院生を対象としたコース
- 2 **実践研究コース**：主に社会人特別選考により入学する学生を対象としたコース

専門知と現場ニーズのシームレスな接合を目指し、両コースの学生は、課題解決型実習である Integrated Science Lab (I-Lab) や産官学演習等において交流し、広い視野を身につけます。これにより、博士研究における先端的専門力を核として、多様な課題解決のための実践力を有する「スノークリスタル型人材」を育成します。

地球の全体像を俯瞰し未来像を描く卓越した専門力
＋多角的な6つの能力の獲得（Snow Crystal 型人材）



1. 募集人員

博士課程前期2年の課程1年 若干名

博士課程前期2年の課程2年 5人程度

博士課程後期3年の課程1年 若干名（基礎研究コース・実践研究コース合計）

※ 学年は、令和8年4月時点の学年を示します。

※ 博士課程前期2年の課程には修士課程医科学専攻、を含みます。博士課程後期3年の課程には博士課程医学履修課程の1～2年次を含みます。（以下同様。）

2. 出願資格

本プログラムに出願できるのは、本プログラムの趣旨を十分に理解し、博士学位取得に向けて意欲のある者で、受入れ予定教員または所属予定の研究科・専攻等の長から強い推薦があり、下記のいずれかに該当する者です。

- (1) 令和8年4月に、表1の研究科・専攻の博士課程前期2年の課程の1年次に入学する者※
（令和7年秋入学で博士課程前期2年の課程の1年次に在籍している者を含む）
- (2) 令和7年4月に入学し、令和7年4月に表1の研究科・専攻の博士課程前期2年の課程の2年次に在籍する者
（令和6年秋入学で博士課程前期2年の課程の2年次に在籍している者を含む）
- (3) 令和7年4月に、表1の研究科・専攻の博士課程後期3年の課程の1年次に進学又は編入学する者

※研究科大学院入試の合否が本プログラムの出願締切後に発表される者も出願は可能です。
ただし、研究科の大学院入試に不合格の場合は、出願資格を失います。

表1. 変動地球共生学卓越大学院プログラムに参画している研究科・専攻

研究科	専攻
理学研究科	地学専攻 地球物理学専攻
工学研究科	量子エネルギー工学専攻 化学工学専攻 土木工学専攻 都市・建築学専攻 技術社会システム専攻
情報科学研究科	応用情報科学専攻 人間社会情報科学専攻
環境科学研究科	先端環境創成学専攻
医学系研究科	医科学専攻
文学研究科	日本学専攻 広域文化学専攻 総合人間学専攻
経済学研究科	経済経営学専攻

《出願上の注意》

1. 本プログラムは、博士課程前期2年の課程（以下、「前期課程」という。）から後期3年の課程（以下、「後期課程」という。）につながる一貫教育プログラムです。後期課程への進学を希望しない者は、本プログラムに出願することはできません。
2. 前期課程への入学を経ずに医学系研究科の医学履修課程へ入学する者については、5年間のプログラムの内容を、医学履修課程の標準修業年限（4年）で修了することができると見込まれる場合に出願できるものとします。

《併願について》

本プログラムの他に、複数の学位プログラムへ併願して応募することも可能です。その場合、各プログラムの内容を良く理解し、受入れ予定教員・指導教員等と十分に相談した上で、願書に志望順位を記載してください（合否判定には影響しません）。ただし、本プログラムでは他の学位プログラムとの重複履修を認めていないため、本プログラムを含む複数のプログラムに合格し、本プログラムの履修を希望する場合は、他のプログラムは辞退することとします。

3. 出願期間

受付期間：令和8年2月9日（月）～ 令和8年2月12日（木）17時

4. 出願書類

次の出願書類一式を揃え、受付期間内に出願してください。

- （1）履修願書（Form A）
- （2）出願理由書（Form B）
- （3）受入れ予定教員等による推薦書（Form C）
- （4）最終出身大学の成績証明書

Form A～C（Word ファイル）は、変動地球共生学卓越大学院プログラムウェブサイトからダウンロードして作成すること。

<https://www.syde.tohoku.ac.jp/>

※ 希望者は、英語能力試験（TOEFL[®]、TOEIC[®]、IELTS[™] 等）のテストスコアの写しや、英語力を証明できるものを提出することができます。評価の参考として使用する場合がありますが、減点の対象にはしません。また、提出しない場合でも、減点の対象とはなりません。

※ 受入れ予定教員が決まっていない場合は、推薦書は所属する研究科・専攻等の長によるものとします。

※ 不備のある出願書類は受理しません。書類についての不明点は変動地球共生学卓越大学院支援事務室へ事前に問い合わせ願います。

※ 出願書類は、一切返却しません。

※ TOEFL、TOEFL iBT、TOEFL ITP 及び TOEIC はエデュケーションアルテストング サービス（ETS）の登録商標です。

5. 電子出願手順

(1) 履修願書 (Form A)

所定の様式に記入し、PDF ファイルに変換して提出すること。写真については、画像を所定様式に電子的に貼り付けること。

(2) 出願理由書 (Form B)

所定の様式に記入し、PDF ファイルにして提出すること。

(3) 受入れ予定教員等による推薦書 (Form C)

所定の様式に記入し、PDF ファイルにしたものを受入れ予定教員等から提出すること。教員の捺印は省略可。出願者本人からの送付は受け付けませんので、必ず受入れ予定教員等からメールにて提出いただくよう依頼すること。

宛先：syde-office@grp.tohoku.ac.jp

(4) 最終出身大学（または大学院）の成績証明書

スキャンしたものを電子ファイルで提出すること。

(5) その他、英語能力試験のテストスコアの写し等を提出する場合

スキャンしたものを電子ファイルで提出すること。

(6) 下記 Google form にて履修願書 (Form A) 出願理由書 (Form B) 最終出身大学の成績証明書、その他、英語能力試験のテストスコアの写し等を 2月12日（木）17時までに提出すること。締め切り後は Google form は使用できなくなるため、余裕を持って直前の出願を避けるようお願いいたします。

出願書類受付 Google form : <https://forms.gle/YvqFwFHHF6B68PD27>

6. 選抜方法

出願書類の審査及び面接試験により選抜します。面接試験の詳細は、電子メール等で出願者に別途通知します。

面接試験：令和8年2月下旬

7. 合格発表

合格発表：令和8年3月16日（月）

合格者の発表は本人あてに個別に通知します。

8. 合格者ガイダンス・授業開始日

合格者ガイダンス・プログラム授業開始日：令和7年4月上旬、青葉山北キャンパス

※詳細は、合格者通知とともにお知らせします。

9. 経済的サポート

基礎研究コースに採択された優秀な大学院学生には、審査のうえ、経済的サポートを行います。支給開始は修士2年からとし、支給金額は別途決定します。公的奨学金等、他の経済的支援を受ける場合は、支援事務室に相談してください。

10. 修了要件

本プログラムの修了には、所属する研究科の修了要件に加えて、プログラムが別途定める修了要件を満たす必要があります。本プログラムでは、一定の時期に、学業成績・単位取得状況・英語能力等の審査（Qualifying Examination; QE）を実施します。審査に不合格となった場合にはプログラム院生の資格を失うので、本プログラムの趣旨と目的等をよく理解した上で応募してください。

カリキュラムについては、変動地球共生学卓越大学院プログラムウェブサイトをご覧ください。

<https://www.syde.tohoku.ac.jp/>

11. その他

- (1) 本プログラムに選抜された学生は、原則として日本学術振興会特別研究員（DC）へ申請することとします。
- (2) 本プログラムに選抜された学生は、広報活動のため写真や動画、氏名や所属などを本プログラムや東北大学の広報誌、ホームページなどのウェブサイトに掲載されることがあります。

令和8年（2026年）1月

東北大学大学院理学研究科
変動地球共生学卓越大学院支援事務室
〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉6-3
（東北大学大学院理学研究科事務棟2階）
電話番号：022-795-5591
E-mail：syde-office@grp.tohoku.ac.jp